## 4. トラブルとその対応事例

## 4-1. 発生が想定される軽微なトラブル事例

事象分類別 (a. 詰まり・堆積)

1-12. パルスカラムの計装配管における詰まり						
事象の概要						
(1)発生場所:機器	分離建屋:パルスカラム					
(2)設備の概要	使用済燃料を溶解した硝酸溶液から核分裂生成物を除去し、ウランおよびプルトニウム 抽出する装置。ウランおよびプルトニウムが移行しやすい有機溶媒と硝酸溶液を空気の係 給と排気を繰り返すことで発生する脈動(パルス)を与えながら接触させることで、ウラン よびプルトニウムを有機溶媒に抽出し、核分裂生成物を硝酸溶液に分離する。					
(3)発生の状況	パルスカラムの運転中					
(4)概要	パルスカラムにて界面(水相と有機相の接触面)検知用の計装配管が析出物により詰まることで発生するパルスカラムの界面位置のコントロールの乱れ。 * 他の建屋も含め同種の機器においても、同様な事象の発生が予想される。					
(5)原因	運転を継続することで発生する詰まり(予め対応手順を定めている)。					
事象による影響						
(1)工場外への影響	工場外への影響 放射性物質を除いるパルスカラムア 場外への影響は変	去するフィルタ りでの事象お。	びそれに伴う	復旧作業であ	り、放射性物質	質の放出等、工
(2)安全性への影響	安全上の問題は					· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
	界面検知用計器   分離・分配工程を   の問題は生じなし   ないよう、溶解液	を手動で停止 ヽ。なお、界面	することが出来 位置の乱れに	そるため、これり よりプルトニウム	人上事象の進展 ム等が不適切の	展はなく、安全上 に流出することの
(3)作業員への影響	作業員への影響 計装配管の詰ま 放射線による作業	り除去は、定と	かられた放射線 は生じない。	<b>說管理計画書</b>	に従って作業を	を進めることにより、
(4)他工程への影響	上流、下流の工程の運転に影響が生じる。 界面位置の異常に伴い、分離・分配工程を停止する必要があるため、上流および下流の工程との間に設置している一時的な貯留槽の残液量で他工程の運転継続の可否を判断する。					
対応の概要	1.計装配管の詰まりであることを確認する。					
	2.定められた保修作業手順に従って、計装配管に供給する計装用圧縮空気の流量を増加させて、詰まりを除去する。					
	3.それでも除去出来ない場合は、定められた保修作業手順に従って、計装配管から硝酸等の洗浄液を流し、詰まりを除去する。また、必要に応じて、定められた操作手順に従って分離・分配工程を停止する。					
公表区分	毎月集約して月1回公表(ホームページへ掲載)					
連絡区分*	トラブル情報			運転情報		
	A情報	B情報	C情報	ご〈軽度な機 器故障	清掃・調整 等で復旧可 能な機器停 止等	不適合等

<sup>\*:『</sup>A情報』:安全協定報告事象等、または、それに準ずる事象、『B情報』:事象の進展または状況の変化によっては、安全協定報告対象になる おそれのある事象等、『C情報』: A、B情報に該当しない軽度な不具合、汚染等、特に連絡を要する事象

